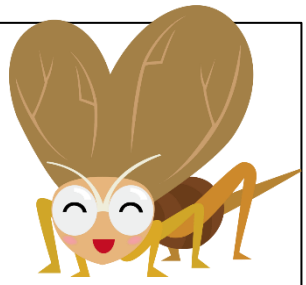
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ20

今日の一言



４．９．１４　校長　渕上　卓也

全校集会での話

私の通学路は、１９７段の階段でした。

先日、一人の男の子から、こんなことを言われました。「校長先生は、退職まであと４年だよね。そしたら、僕たちが卒業するまではいるね。」おそらく子どもたちから退職までの期間を言われたのは初めてでした。「卒業まではいるね。」を伝えてくれたのでしょうが、すっかり退職意識モードになり、過去を振り返ることが多くなってきた渕上です。

そんな今日この頃ですから、全校集会の話でも、ずっと昔の過去を振り返りました。しかも小学生の頃です。前号でもお話ししましたが、私の母校は「長崎市立高尾小学校」です。友だちと遊んだ公園、お小遣い片手に買い物をした商店街、雨の日も雪の日も毎日通った通学路、駆け回った運動場や一生懸命？学んだ校舎、楽しかった思い出などなど・・・を話しました。

一番伝えたかったのは、こうやって何年経っても心に残っているのは、「友だちに恵まれていた。」ということです。もちろん、けんかもしましたが、嬉しいことも悲しいことも、自分のことのように受け止めてくれた友だちがいました。たまに顔を合わせれば、あの頃が蘇ってきますね。

話の材料集めに、本当に久しぶりに高尾小校区内を歩いてみました。昔のままのものもありましたが、変わったり無くなってしまったりしたものもあり、時の流れを感じた次第です。

我が愛する「滑石っ子」たちも、母校を懐かしく思い出す時が来るでしょう。滑石小学校は、「なかまに　めぐまれた　しあわせな学校」ですから、これからも楽しい思い出をつくってあげられる仲間であり続けてほしいと思います。

５０年後に？いや、ちょっと厳しいかな・・・。２５年後に再会できたらうれしいです。

＜今日の一句＞

もうやめよう
過去を引きずる
生活を　　卓也

未来志向へ！！

４５年前の修学旅行。素敵な友だちと！！